



令和4年7月1日現在	
総人口	12,415人
男	6,056人
女	6,359人
世帯数	5,386世帯
島内公民館 電話	47-0264
FAX	40-1264

地域の元気な声を届けよう 「市長と市民のこんだんかい」 中学生も意見交換

6月19日、臥雲市長と島内地区住民が「地域の人材育成をどう進めるか」をテーマに、地区の取組み等について意見交換しました。公民館で活動する館報・文化委員会委員や愛ランド島内運営委員、防災モデル事業に関わった町会長や松島中学校生徒など約20名が参加し、地域活動を通じて人材発掘・育成へつながらる公民館活動の重要性について確認されました。



島内では、町会によって世帯数・高齢化率・地域環境が異なるため、問題や課題にも違いがありますが、共通して「担い手としての人材」という存在が重要となります。

当日は、地域で中学生の力を活かす取組みとして、松島中学校での防災学習活動の発表がありました。生徒会の正副会長から「中学生に出来ることがある。近所の人にも注意を向け、楽しく関心の持てる催しを企画したい」との発言があり、市長からは「皆さんは地域のレギュラーメンバー。担い手となる若者の認



識を、中学生まで上げる必要性を感じた」と、感想と共にエールが送られました。

また、参加者の多くからは「コロナ禍で活動が停滞し、新たな人材発掘・育成に苦労している」との発言がありました。一方市長からは「住民主体の活動や公民館活動は大切。それを支える公民館や職員(公民館主事)の役割は重要だと考えている」との話がありました。やはり、町会や公民館での活動が地域づくり(人づくり)に欠かせないと再確認しました。

「日頃のコミュニケーションや活動を通じた出会いが人材育成になる」「住民自身が主体者だと思える企画をしたい」等の発言もあり、コロナ禍を越えた新たな取組みへ向けて意欲を高めあっていました。

松本筑摩高校

本校昼間定時制では、平成23年度から、地域理解・地域貢献の一環として校外清掃を年2回、生徒全員参加で実施しています。

学校周辺と、日々利用させていたただく大糸線島高松駅と上高地線大庭駅までの道筋で、菓子の空き袋・ペットボトルなどを片付けます。

地域の方から「よくやるね」とお褒めの言葉をいただいた時、「ゴミを散らかす生徒もいるかもしれない。そうだとしたら恥ずかしいよね」と、



感想を持つ生徒がおりました。生徒を温かく見守ってくださる皆様に感謝しています。

活動を通して、生徒一人ひとりが地域との関わりに思いを深めてくれるよう願っています。

教諭 青柳 敏明

みんなの力で地域によりそう

同委員会は昨年も2台の車を福祉施設に届けており、生徒たちの「地域へ貢献したい」という思いは今年も受け継がれました。

船坂大介委員長と関澤真於副委員長は「全校生徒の思いが詰まった車イスです。施設

松島中学校

6月8日、松島中学校生徒会ボランティア委員会は、ベルマークで交換した車イス2台を、学区内にある高齢者施設「ハーモニー」と「ぬくもりの里島立」へ寄贈しました。



の役に立てて欲しい」と話し、ハーモニーの中辻良幸施設長からは「生徒から車イスをいただきありがたい。勉学に励んでください」とお礼の言葉がありました。

中学生と施設の間に、交流の輪がさらに広がりました。

一年間の成果を共有 防災モデル事業報告会

5月19日、町会長や防災部長など45名が集まり、島内地区防災モデル事業報告会が行われました。島内では昨年度から、地区・町会単位の防災体制の構築を目指し、島高松・松島・平瀬川東・下田・犬飼新田5町会の活動、松島中学校での防災学習、事業所等との連携や安否確認訓練などに取組みました。今回、島高松町会から事業の概要等について寄稿いただきました。

【隣組単位での避難計画づくりで大切にしたいこと】

町会でモデル事業に取組んだのは、町民の心にはあるが行動に結びつきにくい「いのちを守る」ということを、防災活動を通じて形にしようと考えたのがきっかけです。さらに、関係性が希薄化してい



報告会で発表する島高松町会長

る町会を何とかするため、隣近所の共助の仕組みづくりへつなげたかったことが背景にありました。

そこで、ひとつの町会を選び、避難計画づくりをスタートしました。大切にしたいのは、話し合い等を一方通行にしないようにワークショップ形式で進め、意見等もフィードバックすることに努めました。

また、こちら側が目指すゴールを明確にし、「防災」「いのちの見える化」を前面に出したことも、大切なポイントでした。「いのちの置き去りはしない」ということが、皆さんの共通の土台にあったと感じています。

今年度は新たに、それぞれ100戸を超す大きな2町会で取組みを進めます。そのため、民生委員などを加えた「島高松モデル町会実行委員会」を設置し、常会へのサポート態勢を強化しました。関わり合うことで関係性が生まれ、町会という組織の中に、小さな輪をいくつも作ることで出来れば最高です。

島高松町会長 高山 拓郎

木曾路を巡る 島内農業文庫視察研修



密を避けて 40名で須原宿を散策

京都と江戸を結ぶ大動脈であった中仙道の木曾路は、多くの宿場跡や史跡が残されています。今回は宿場の街並みが多く残る「須原宿」と、国の重要文化財「定勝寺」のある大桑村を中心に、大河ドラマで話題の

木祖村「義仲館」や「福島園所跡」を訪れました。

農業文庫の視察研修では、案内ボランティアや学芸員による現地説明をできるだけお願いすることにしています。定勝寺では90歳代のお寺の総代さんが、故郷の宝について熱弁をふるってくれました。義仲館では、木曾義仲は「乱暴な田舎者」などではなく「義に厚い」正義の人であったことなどの説明があり、留飲が下がったことでした。

25年前に発足した島内農業文庫運営委員会は、この度「島内農業文庫友の会」と改称しました。今後も公民館等のご支援のもと、地域の生涯学習活動や自己啓発、仲間づくりなどに取組んでいきます。

友の会会長 丸山 高司

主催：島内地区社会福祉協議会
協力：島内公民館 (TEL 47-0264)

8/7日 夏休み
おはなしファミリー 劇場 2022年夏

松本市音楽文化ホール (主ホール)
開演 13:30 (開場 13:00)

「音楽とおはなしで描く むかしばなし世界旅行へ!」

予約不要・使用料無料

期日	学習	昼食	期日	学習	昼食
8月1日(月)	松大	○	8月15日(月)	育成	×
8月2日(火)	育成	×	8月16日(火)	育成	×
8月3日(水)	松大	○	8月17日(水)	松大	○
8月4日(木)	育成	×	8月18日(木)	松大	○

時間 9:00 ~ 17:00 会場 島内公民館 視聴覚室

■学習欄の「松大」…午前中に松本大学生の学習支援があります。
「育成」…午前中に島内子ども会育成会の学習相談があります。
■昼食欄に「○」がついている日は、昼食サービスがあります(無料)。
昼食の希望有無は、当日午前10時に生徒さんへ確認します。

夏休みは公民館で学習しよう

松中生のための学習室

島内公民館は、夏休みの8日間、公民館を学習室として利用できます。学習支援や昼食サービスもありますのでぜひおいで下さい。